

令和6年度オグレスビー氏産業開発基金奨学金

令和6年11月14日(木)財団にて、今年度のオグレスビー氏産業開発基金奨学金交付式が行われました。オグレスビー氏奨学金は、沖縄産業の恩人と言われた故・サムエル・C・オグレスビーの長年の功績を記念して、工業関係有志の浄財によりオグレスビー氏産業開発基金を設立し、その一部を県内に在学している工業高校生へ交付される奨学金です。

今年度は沖縄工業高校 情報電子科3年の中村 日向（なかむら ひなた）さん、那覇工業高校 電気科3年の村吉 璃空（むらよし りく）さんの2名が選ばれました。

中村さんは「将来は機械エンジニアとして産業の発展に貢献したい」との夢を描き、大学では機械工学の基礎知識を身につけ、さらに機械を複合化することにより生産性の向上につながる研究し、卒業後は各業界のニーズに応えた機械を設計することで社会貢献をしたいと語っていました。

村吉さんは「高校卒業後は内定している会社で、オグレスビー氏奨学生の名にふさわしいように、これまで得た経験や今後の新たな一線級の経験を社会人として一つ一つ学び日々精進していきます。」と意気込みました。高校在学中は、勉強と生徒会活動に力を入れ、コツコツ勉学に励んだことで、実力テストで1位になったこと、第1種電気工事士を取得したこと、生徒会長としてイベント企画・運営して学校全体を盛り上げることに貢献したことを語っていました。

2名とも将来の目標に向かって頑張ってください。おめでとうございます。



(前列左から沖縄県工業連合会会長古波津昇氏、那覇工業高校の村吉璃空さん、沖縄工業高校の中村日向さん、本財団理事長宮城淳、
後列左から那覇工業高校校長宮里真二氏)、沖縄工業高校校長兼沖縄県工業教育研究会会長外間 昌繁氏)